

情報連絡員報告を中心とした 県内の中小企業動向 &トピックス・6月

政府がこのほど発表した5月の景気動向指数(速報値)によると、02年2月に始まった現在の景気拡大期間は5月で52月となり、バブル景気(86〜91年の51月)を抜いて、単独で戦後二番目の長さになったことが確認された。

また、政府は06年度の経済成長率の見通しを物価変動の影響を除いた実質で2・1%、名目で2・2%に改訂した。これは1月に閣議決定した政府経済見通しよりも0・2ポイント引き上げられており、1月の見通しよりも上方修正するのは、足元で個人消費や設備投資を柱とする民需主導の回復が鮮明になっているためだ。

【製材 県下全域】
千葉県内における4月の新設住宅着工戸数は前年同月比35%増の7580戸と7千戸台の大幅な伸びとなった。しかしながらマンションを中心とした分譲住宅が前年実績の80%も上回って全体を押し上げたもので、木造に限っていえば前年実績を15%も下回っている。

【生コン製造 県下全域】
前月比、前年同月比共に増加し

たが、4〜5月累計では両方ともほぼ不変の状況である。トータル的には特に変化なし。

【電気鍍金 県下全域】
売上高、在庫数量共に増加傾向にあるが、材料等の大幅な高騰で、収益は悪化している。今後も引続き値上げが続けば、経営に大きく影響されることが懸念される。

【建築材料卸売 県下全域】
一部の大型プロジェクトは活況を呈しているが、大多数のセメント関連の中小企業は好転の兆しなし。値上げも一服し、動きなし。雨が多くて荷動きも低迷している。

【自動車解体 県下全域】
新車販売で、1月〜6月までの登録車販売は300万台を割り込んでおり、ほぼ23年ぶりの低い実績。軽自動車も含めてやっと前年並みとのことだ。このため自動車業界全体が重い雰囲気になっている。

使用済み自動車の発生は、激減した前年並みで回復の兆しが見えない。鉄スクラップは5月より若干値を上げたが、アルミ、レアメタルは下降トレンドに入ったようだ。そのため、廃触媒価格は下界全体元気ない。

自動車解体業界の全国組織、日本ELVリサイクル機構が、6月16日、品川プリンスホテルにおいて第1回の社員総会を開いた。来賓、会員合わせて300名が出席した。ELV機構は、全国中小企業団体中央会から平成18年度の補助事業対象団体選ばれ、事業規模1300万円あまりの活路開拓事業が進められることになった。

【食肉卸売 県下全域】
業界としては大きな変化はない。処理頭数は増加している。飼養戸数は減少する傾向にあるが、頭数は横ばい状況にある。

【小売 相】
天候不順が続き、売上は良くない。下旬には一部で夏物バーゲンが始まり、収益を悪化している。

【電気機器小売 県下全域】
デジタル薄型テレビは好調。エアコンは不調。冷蔵庫、洗濯機等の白物はやや持ち直してきている。

【中古車仕入・販売 県下全域】
6月中旬から下旬にかけて直販動向はやや上向き気配が広がってきたが、依然慎重さも目立つ状況で、この好転の気配が、確かな手ごたえにつながるかどうか、微妙な局面にさしかかっている。

【小売 東金】
前半は、5月末の納税関係での出費が重なったため、購買意欲が減少し苦戦した。中旬から後半は、多少持ち直したが前年より下回ってしまった。ボーナス支給日も

年々遅くなっており、7月からのボーナスによる消費を期待したい。

【小売 野田】
サッカーW杯の影響で大型液晶テレビの売上が伸びた。又、タバコ値上げに伴う駆け込み需要で、先月比の3倍増の売上になった。

【農業機械販売整備 県下全域】
政府が「新農政プラン」を決定し、農産物輸出を5年で倍増、担い手の育成、コスト縮減、技術と知財で新分野の開拓などを打ち出した。これらの農政の変化が業界に与える影響を注視が必要である。

農業自体の大規模化、農業法人化、請負組織化等により機械の大型化や高馬力農機の新規需要は増加したが、一部は機械1台で間に合うために絶対量は減少している。また、農協組織が変化し、求心力が低下して作業受託などの集団化が進まない。

【小売・サービス 習志野】
まちづくりの活性化の根本は、街区に生活している住民等の意識にかかっておりませんが、この意識改革が難しい。

【自動車一般整備 県下全域】
平成18年6月から改正道交法が施行されたが、放置違反車両の車検拒否制度というペナルティが新たに導入されたため、説明会を県下全域にわたり数回開催した。

【建設揚重 県下全域】
稼働率は、一部で下降傾向、県内でも地域、業種で差がある。

【建設 県下全域】
当連合会加入組合員の官公庁(国、県、市町村)からの受注は30億5000万円であった。前月比では、10億7100万円の増加であったが国からの受注は零であった。前年同月比ではマイナス22億7500万円であり厳しい状況となっている。

【貨物運送 野田】
他業界(荷主さんの業)は不景気を脱したように感じられるが、自業界は、さらに燃料費の値上げがあり苦しくなっている。

広げよう連携の絆 新たな飛躍のとき
第58回中小企業団体全国大会
▼日時
平成18年10月19日(木)
午後1時30分〜4時30分
▼場所
渋谷公会堂
東京都渋谷区宇田川町1の1
▼参加方法
現地集合、現地解散
▼参加費
1人 3000円
▼申し込み
本会総務部
TEL 043・242・3277